

事業番号	10 05 02	事業改善シート (26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	河川一般管理費			担当課	部局	建設部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	河川課	
	施策の総合的展開	4-1 地域防災力の向上			E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp	
		4 災害に強い地域づくり			実施期間	M29 ~	

1 事業の概要

目指す姿	○河川巡視員等の配置により、河道及び河川管理施設の異常、不法占用、不法投棄物の早期発見及び是正により適切な河川管理を行う。 ○傷害保険加入により河川愛護および河川モニター活動環境の充実を図り、持続的な活動及び広がりを支援する。 ○岩石採取及び砂利採取に伴う災害の防止を目的とした講習会、現場指導を実施し、災害防止に向けた取組を促進する。 ○河川の付け替え等により生じた廃川敷地の売却いや交換を計画的に進めることにより、河川敷地の適正な管理を行う。		
------	--	--	--

現状 (予算編成時)	○河川敷地の不法投棄は減少しているものの、近年の河川パトロールにおける廃棄物の回収量は10t前後で横ばい状況にある。 ○愛護活動者の高齢化が進んでいるほか、近年の活動人数は横ばい状況にある。 ○廃川敷地の測量及び鑑定を実施して、計画的に廃川処理を行っている。		
------------	---	--	--

県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施： 実施中	【左記の説明、根拠法令等】 河川法、砂利採取法、採石法、長野県水環境保全条例
----------	-------------------------------	---

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)					
	○河川巡視 (外勤) 実施日数 1,730日/年 (延べ日数) ○河川愛護活動人員 16万6千人/年 (延べ人数)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績	H26		H27
				(当初)	(決算)	(当初)
	1. 河川巡視員設置	直接	河川巡視員配置 (延べ配置日数:2,160日/年)	16,701	15,726	17,191
	2. 河川愛護活動支援事業	直接	活動者の傷害保険の加入 愛護団体標識の設置	1,204	945	1,170
	3. 河川モニター設置	直接	モニター活動者の傷害保険の加入	59	59	59
	4. 採石、砂利採取災害防止講習会等	直接	採石、砂利採取災害防止講習会、岩石採取場災害防止技術指導、職員現場講習会	445	278	460
	5. 河川名標識設置	直接	河川区域境界杭設置、河川起点杭設置、河川名標識設置、河川注意標識設置	532	489	532
6. 廃川敷地不動産鑑定等	直接	廃川敷地測量 廃川敷地不動産鑑定	5,032	1,393	5,834	
7. 河川占用台帳電算処理	直接	河川占用許可台帳システム保守業務委託	894	864	616	
8. 河川維持管理システム整備	委託		-	-	2,376	
合計			24,867	19,754	28,238	

事業コスト	区分 (単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	64,033	35,397	24,867	28,238
	補正予算	28,365	0	0	
	合計 (A)	92,398	35,397	24,867	28,238
	Aの財源				
	一般財源	0	0	0	0
	県債	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0
	その他	92,398	35,397	24,867	28,238
決算額 (B)	90,576	25,767	19,754		
概算人員数 (人)	0.93	0.26	0.26	0.32	
概算人員費 (C)	7,680	2,147	2,147	2,643	
概算事業費 (B)+(C)	98,256	27,914	21,901	30,881	

成果目標の達成状況					
項目	H25末 (実績)	H26			H27
		目標	成果	達成状況	目標
巡視実施日数 (巡視実施率)	1,799日 (83%)	1,730日 (80%)	1,745日 (81%)	達成	-
愛護活動人員	16.6万人	16.6万人	17.3万人	達成	16.6万人
河川巡視実施距離	-	-	-	-	6.0万km

目標に対する成果の状況	・河川巡視実施日数の増加により、河川の日常管理の充実を図ることができた。 ・継続した河川愛護思想の啓発により、河川愛護活動人数が増加し、良好な河川環境の保全を図ることができた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・住民との協働による河川の維持管理を推進するため、平成27年度以降も引き続き活動支援 (報償費、傷害保険の加入) を継続するとともに、平成25年度から導入した「わがまちの川」美化事業により、作業しやすい環境づくりを進めることで、将来にわたり、活動の継続と活動者の増加を図る。
--------------------	--